



碧南ロータリークラブ週報

第2503回例会 平成22年6月2日(水)

● 会長 鈴木 並生 ● 幹事 長田 豊治 ● 会場監督 (SAA) 新美 真司

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 岡本明弘・新美雅浩・大澤明敬・西脇博正



2009-2010年度
国際ロータリーのテーマ
THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

● 齊 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

碧南市 市史資料調査員 浅井久夫様

会 長 挨拶

昨日、交通安全協会碧南支部の定時総会を開催させていただきました。森田先生、杉浦健次様、他多くの皆様方のご協力により、無事終了しホッとしている所です。

又、2009年～2010年度のロータリークラブも、あと一月です。昨日、本年度最後のガバナー月信がメールで届きました、大澤ガバナーも「気が付いたらあと1ヶ月、定期のガバナーズレターも今回が最後です。」と言っている様に、いよいよゴールも目の前です。先輩会長さん達からも、「あと少しだなあー」と声を掛けていただき、顔がほころんできております。

さて本日の卓話の講師の先生は三月に引き続き浅井様に来ていただいております。先回は時間が少なく大変失礼しましたので、本日の私の挨拶は大変簡単ですが以上で終わります。



鈴木並生会長

幹 事 報 告

- ・ 例会変更等はお手元の幹事報告を参照下さい。
- ・ 本年度最後の理事会を例会終了後開催しますので、よろしくお願ひします。



長田豊治幹事

委 員 会 報 告

〈出席奨励委員会〉

総会員数76名(内出席免除者14名の内出席者10名)出席者64名

出席対象者 64/71名

出席率 90.14%

欠席者12名(病欠者1名)

前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 岡島 淳一君 健康が回復して又出てくるようになりました。どうぞ宜しくお願い致します。
- 新美 孝君 5月27日、碧南高浜防犯協会連合会会長を無事退任することが出来ました。協力有難うございました。後任は森田英治氏を指名し選任されました。よろしくお願ひします。
- 森田 英治君 去る5月27日、碧南高浜防犯協会連合会総会に於いて会長に新美孝さんの後を受け、就任致しました。
- 鈴木 並生君 昨日、安協碧南支部の総会無事に終了しました。皆様のご協力に感謝致します。これからもご支援よろしく。
- 原田 達八君 5月27日、(社)刈谷法人会より感謝状をいただきました。
- 杉浦 勝典君 6月1日に愛知県陶器瓦工業組合の陶友会ゴルフ大会が葵カントリークラブに於いて27組107名のご参加を頂きました。好天にもめぐまれ盛大に開催することが出来ました。有難うございました。杉浦栄次君には大変お世話になりました。メンバーの新美真司君には忙しいところご参加ありがとうございました。
- 清澤 聡之君 6月5日夕方より、感謝法要・報徳薪能があります。参拝・観賞にお越し下さいませ。
- 山中 寛紀君 本日の卓話の講師 浅井久夫先生のご紹介をさせていただきます。
- 角谷 修君 5月26日、当社株主総会が無事に終わりました。
- 杉浦 栄次君 昨日開催の交通安全協会碧南支部の総会で、警察署長並びに鈴木支部長様より表彰して頂きました。ありがとうございました。

〈親睦活動委員会〉

会員誕生日

1日 長田 和徳君 8日 原田 達八君 17日 鈴木 敏弘君 29日 亀山 裕一君

奥様誕生日

26日 栗田 政志君の奥様恭子様

結婚記念日

4日 杉浦 栄次君・ちづる様 21年 7日 新美 真司君・琢美様 24年

13日 大澤 明敬君・奈保美様 18年

入会記念日

3日 原田 達八君

卓 話

「偉人の生き様から何を学ぶか」 碧南市 市史資料調査員 浅井 久夫氏

本日はまず「加納俊治氏 藤井達吉翁を語る」と「栗木伎茶夫氏 藤井達吉翁を語る」の2冊の本を配布させて頂きました。これには私も編集に携わっており、1年ほど前に「山内一生氏 藤井達吉翁を語る」も出版しました。この御三方が、藤井達吉翁の直接の弟子であり、現在ご存命の方ですが、皆さんご高齢のため最後のチャンスだという事で、石川繁治さんが何度かお邪魔してインタビューを行ない、何とかこのような形でまとめる事ができました。



この三名の方は、それぞれ個性が違っておりまして、三者三様のものができたかなと思っております。山内先生は、人柄と言うか絵師の中で活躍されている方で、加納先生は、芸術家気質で厳しい方ですが、藤井達吉翁の生き様を実現されている方ではないかと思ひます。栗木先生は100

歳を超えていますが、まだ作陶されています。83歳で亡くなられた達吉翁より20年近く長く生きておられるのですが、いまだに深く達吉翁を尊敬されており、いかに達吉翁がいかに偉大な人物だったかという事がわかるかと思えます。

さて、今回は藤井達吉翁について話をさせていただきましたが、今回は少し角度を変えてお話したいと思えます。私は「藤井達吉物語」の後、昨年鷺塚の「近藤担平物語」を出し、今年は11月頃に出ると思う新川の「服部長七物語」を手がけており、碧南の小学校区で一人ずつ取り上げていこうと考えています。この後は大浜で清沢満之先生をやるかなという事で、先日住職さんとも話をさせていただきました。この様に、一人一人を取り上げ深く掘り下げようとしているのですが、現教育長さんからは長編もいいけれど、ぱっと見て碧南の偉人がわかる様な冊子も欲しいと言うことで、20人程度を取り上げた短編集も考えています。本日は、その中で碧南に生まれ明治・大正時代に活躍した偉人の中から5人ほど挙げさせて頂いて、お話したいと思えます。

- 山中信天翁
- 服部長七
- 近藤担平
- 加藤平五郎
- 藤井達吉

の5名の方について、配布資料に基いて説明された。

これらの5名について、共通していることは

- ①困難に立ち向かい、夢や目標（「大きな幸せ」・大志）、強い信念を持っていた。
- ②自分の小さな幸せよりも、家族・故郷・国家のために、「大きな幸せ」を求めて努力した。
- ③故郷を離れても、常に「ふるさと意識」を持ち続けていた。
- ④常に新しいことに挑戦し、それに向かって全力で努力を続けた。
- ⑤自分の功績を自慢したりせず、陰徳の精神を尊重し、三河人気質を持っていた。

そして、これらの偉人の生き様から何を学ぶかを考えると、彼らが生きた明治・大正の時代背景から、途上社会における夢や目標が創出され、人や社会のために生きることが大きな幸せであり、つまり家族愛・郷土愛・愛国心に基く大志を抱いていたのではないかと思えます。一方、現代においては、個人も国も目標を失い、自分のための小さな幸せを求めるあまり、孤立やモラルの欠如を生み出しているのではないかと思えます。

最近、歴史ブームと言う事で戦国武将や坂本竜馬などが盛んに取り上げられていますが、これは単なるカッコよさだけではなく、現代社会に何か物足りなさを感じているのではないのでしょうか。

前回・今回とロータリークラブを訪問させて頂き、このロータリーの「奉仕の理想」の精神こそが明治・大正時代に生きた偉人たちの考えや理念に通じると感じております。このような偉人たちの考え方・生き様を一般の方たちにも知ってもらいたいと考えており、教育の場を通じて子供たちに学ばせてあげたいと思っています。

以上、全て私の勝手な考え方でお話させて頂きましたが、こんな見方もあるかと言う事でお許しくださいませと思えます。本日は、ありがとうございました。

次回例会案内平成22年6月16日（水）

卓話「プロ野球よもやま話」

プロ野球評論家 木俣 達彦氏